

兵庫県 加古川 警察署



兵庫県加古川警察署長
 はまだ かずき
 警視正 濱田 和樹 さん

守ります！
あなたと町の安全・安心を

日暮れの時間が早くなってきており、年末年始にかけて薄暮時間の重大事故が懸念されます。管内の状況について、本年4月から加古川警察署に着任された濱田署長にお話を伺いました。

ご自身の身を守るための安全意識を

加古川警察署管内の交通事故の概況ですが、交通量も多く、本年9月末まで、人身・物損合せて7392件（前年比+23件）の事故が発生しています。事故の傾向として、人身事故は前年比で減少していますが、物損事故は増加しています。物損事故とはいえ、重大事故にもつながるリスクはあり、署としては指導取締りや安全教育等の事故抑止の取り組みを強化しています。

運転者の皆さん、歩行者の皆さんにもぜひ慎重な運転や交通ルールの遵守をお願いしたいと思います。

また、自転車についてはルールが大きく変わりました。2024年11月からは「ながらスマホ」の罰則強化や「酒気帯び運転」への罰則も設けられ、来年4月からは交通違反者に反則金を課す、いわゆる「青切符」制度の導入も予定されています。これらは、全国的に増加する自転車事故も背景にあります。今までの認識を一度リセットしていただき、新しいルールに則って安全な利用をお願いいたします。

自転車に関して、管内では自転車の盗難被害も増加傾向にあります。ほとんどのケースは施錠がされていないことが原因です。私どももパトロールを進め検挙に努めています。皆さんにもちよつとした防犯意識を持っていただき、施錠を忘れないようにしていただければと思います。

巧妙化する特殊詐欺の脅威

次に、交通事故と並んで深刻な問題となっているのが、特殊詐欺です。今年の1月から9月までの認知件数は39件で、被害額はなんと2億5000万円に上ります。昨年1年間の被害が約

9000万円だったことを考えると、大変深刻な状況です。手口が巧妙化しており、「オレオレ詐欺」のように警察官を騙ってお金を振り込ませるものが半数を占めています。時には「私たちはあなたの味方です」と寄り添うような言葉や「隠し事はしないで下さい。こちらで調べれば全部わかりますから」などと不安を煽り、振り込みを促すこともあります。冷静に考えれば「おかしい」と気づくはずですが、相手のペースに乗せられると視野が狭くなってしまう。

警察官がお金を送らせたりすることは絶対にありません。そのような話が出たら、まずは詐欺を疑って、ご家族や警察に相談してください。

安心して暮らせるまちへ

私たち加古川警察署は、日頃から事件・事故を未然に防ぐため、啓発活動やパトロール、そして取り締まりを行っております。何かお困りのことがございましたら、どんな些細なことでも結構ですので、お気軽に警察署にご相談ください。これからも、皆様が安全に、そして安心して暮らせるよう、署員一丸となって精一杯努めてまいります。